

INSTRUCTIONS FOR USE
MODE D'EMPLOI

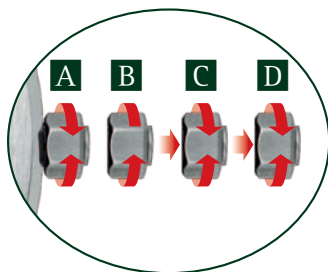
SELFWINDING MOVEMENT

CALIBRES 2140, 2225 AND 2325

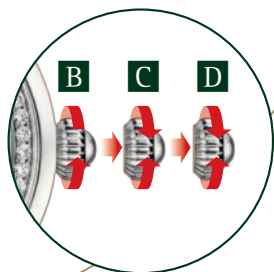
AUDEMARS PIGUET
Le Brassus



Couronne vissée
Screwed crown



Couronne non vissée
Not screwed crown



日本語

使用説明書の目次はインタラクティブになっています。
読みたい項目のタイトルもしくはサブタイトルをクリックしてください。

目次に戻りたい場合は縦に配された白いインデックス
«日本語»をクリックしてください。

保証とお手入れ

時計の保証、および推奨するお手入れ方法に関する全ての詳細な情報は、証明書および付属の保証書に記されています。



目次

イントロダクション 146ページ

- オーデマ ピゲのマニュファクチュール

時計について 150ページ

- 自動巻きキャリバー

この時計について 152ページ

- ムーブメント
- ムーブメントの仕様
- 特徴

機能の使い方 158ページ

- 時計の表示と機能
- 時刻合わせ
- 時刻合わせ時のテンプの停止
- ムーブメントの巻き上げ
- 日付の調整



イントロダクション オーデマ ピゲの マニュファクチュール

時計製造技術の発祥の地、ジュウ渓谷

ジュネーブの約50 km北、スイス・ジュラ山脈の中に、今日までその自然の魅力を保っている地域、ジュウ渓谷があります。この山岳地帯は気候が厳しく、土壌も痩せていたため、この地に根を下ろした人々は18世紀の中頃に、農業以外の収入の道を探すことを考えました。コンビエと呼ばれたこの土地の人々は、手先の器用さと新しいものを創造する力、また不屈の精神を活かして、時計製造業へと発展していくことになりました。

こうして作られたムーブメントは質が高く、ジュネーブの企業に大変な好評をもって迎えられ、完全な時計に仕上げられたのでした。

1740年以降、ジュウ渓谷のみで時計製造業は自立した産業として発展することができるようになりました。このとき以来、この地域は、ある年代記の1881年の項に記されているように、「急速に発展を遂げた桃源郷」へと変貌したのです。





偉大なる冒険に挑んだ2つの名前

1875年、複雑時計の製作に情熱を傾ける2人の若き天才時計職人、ジュール＝ルイ・オーデマとエドワール＝オーギュスト・ピゲが、高級時計産業が盛んな地、ジュウ渓谷で2つの才能を集結させ、複雑機構を搭載した時計を開発・製作しようと決意しました。2人の決意、想像力、そして規律の正しさは、ただちに成功を収めました。1885年ごろ2人はジュネーブに支店を構え、1889年のパリ万国博覧会の際には様々な超複雑懐中時計を発表して、新たな取り引き関係を広げます。オーデマ ピゲのマニュファクチュールは年々と発展を続け、例えば1892年には初めてのミニッツリピーター機能付きの腕時計、1915年にはそれまで実現されたことのない5分単位ミニッツリピーター機能を備えた最小ムーブメントを製作するなどして、高級時計産業の歴史を彩ってきました。

1918年からは、創設者の息子たちが事業を受け継いでいます。男性用、女性用の腕時計の製作に卓越した技術を発揮し、極薄の洗練された新しいムーブメントを作り出しています。1929年のウォ

ール・ストリート株価大暴落によって厳しい経営を強いられるものの、粘り強さと信念を持ち続けることで、まずスケルトンと呼ばれる時計の製作を再び軌道に乗せ、その後クロノグラフ付き時計の製造に乗り出しました。しかし、この新しい勢いも、第二次世界大戦によって突然中断を余儀なくされてしまいます。戦後は再編成をし、マニュファクチュールは、「伝統と革新」を追及しつつ、ハイエンドウオッチの製作に注力。そして特に、クリエイティブの斬新さという方針により、戦略は実を結んだのです。



国際的な成功を収めたオーデマ ピゲ は、1972年にステンレススチールを用いた世界初のラグジュアリースポーツウオッチとして発表され、発売と同時に大きな成功を収めたロイヤル オークの製作をはじめ、1986年に発表された世界初の自動巻きの極薄トゥールビヨン腕時計などの製作を続けてきました。以来、マニュファクチュールの創造のひらめきは衰えることなく、比類ないムーブメントを備えた独自の美しさを持つ時計を世に送り続けています。こうして80年代末には複雑時計のテストをコンテンポラリーなものに一新し、1999年には見事なコレクション、トラディション オブ エクセレンスを発表します。オーデマ ピゲはこのシリーズの一環として、オーバルケースデザインのミレネリーのトラディション オブ エクセレンスNo.5を発表しました。この時計には、パワーリザーブ・インジケーター機能、デットビートセコンド機能、垂直に配された永久カレンダーが備わっており、さらには潤滑油を必要とせずに革命的な高い効率で機能する新脱進機システムを搭載することにより、伝統に根付いた大胆なスピリットを実現しながら、未来をも約束しています。



時計について 自動巻きキャリバー

自動巻時計では、手首の動きがエネルギーに変換され、時計を作動させています。

21Kゴールドのローターの動きが歯車機構により香箱のスプリングに伝達されます。スプリングが徐々にバレル軸に巻き付くことで、エネルギーが蓄積されます。蓄えられたエネルギーはコンスタントにムーブメントに供給されます。

時計をつけた方の運動量や生活習慣の違いにより、数時間から数日の範囲でパワー・リザーブが上限に達します。

過度な巻き上げによる負担を防ぐために、巻き上げきった段階で、巻止めシステムが機能します。

この時計について ムーブメント

キャリバー 2140



ケースバック



ダイヤル側

ムーブメントの仕様

ムーブメントの厚さ: 4.00ミリ

ムーブメントの直径: 20.40ミリ

振動数: 4 Hz (28,800 振動/時)

石数: 31

パワーリザーブ: 約40時間

双方向回転自動巻

環状テンプ

平ひげゼンマイ

可動ヒゲ持ち受け

特徴

時刻調整中は、テンプが停止（秒針の停止）

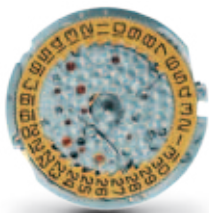
セラミック製ボールベアリング上にセットされた21Kゴールドを部分的に使用したローター

この時計について ムーブメント

キャリバー 2225



ケースバック



ダイヤル側

ムーブメントの仕様

ムーブメントの厚さ: 3.25ミリ

ムーブメントの直径: 26.60ミリ

振動数: 4 Hz (28,800 振動/時)

石数: 36

パワーリザーブ: 約40時間

双方向回転自動巻

環状テンプ

平ひげゼンマイ

可動ヒゲ持ち受け

特徴

時刻調整中は、テンプが停止（秒針の停止）

セラミック製ボールベアリング上にセットされた21Kゴールドを部分的に使用したローター

この時計について ムーブメント

キャリバー 2325



ケースバック



ダイヤル側

ムーブメントの仕様

ムーブメントの厚さ: 3.25ミリ

ムーブメントの直径: 26.60ミリ

振動数: 4 Hz (28,800 振動/時)

石数: 32

パワーリザーブ: 約38時間

片方向の自動巻き上げ

(ムーブメントは ローターが文字盤側から見て時計回りに動くことにより巻き上げられます。従って回転式巻き上げツールを使用する時はツールを反時計回りに調整して下さい)

変動慣性マスロット使用テンプ

平ひげゼンマイ

可動ヒゲ持ち受け

部品数: 219

特徴

時刻調整中は、テンプが停止 (秒針の停止)

セラミック製ボールベアリング上にセットされた21Kゴールドを部分的に使用したローター

機能の使い方

時計の表示と機能

(図を参照)

- ① 時針
- ② 分針
- ③ 秒針
- ④ 日付窓

この時計は3～4つのポジションを有するリューズを備えています。

- A** ねじ込まれた位置のリューズ
(ロイヤル オークの中のいくつかのモデルのみ)
- B** 位置 巻き上げ
- C** 位置 クイック日付修正
- D** 位置 時刻合わせ

＜注意＞ロイヤル オークはモデルによっては、リューズを緩めて所定の位置に引き出すことが必要です。作業後は防水性を確保するために再び(**A**)位置までしっかりとねじ込んでください。



機能の使い方

時刻合わせ

ロイヤル オークはモデルによっては、リューズを緩めて所定の位置に引き出す必要があります。緩めるとリューズは自動的に **B** 位置にセットされます。

リューズをポジション **D** に引き出します。時間調整時には設定希望時刻より5分進めてから希望時刻に戻すことをお勧めします。歯車のかみあいが正確になり精度がより高くなります。

注意: 日付を調整する時に正午と零時を間違えないようにご注意ください。

時刻合わせ時のテンプの停止

リューズを引き出すと秒針と同時にテンプも自動的に停止します。これにより正確な時刻合わせが可能です。

ムーブメントの巻き上げ

ロイヤル オークはモデルによっては、リューズを緩めて所定の位置に引き出す必要があります。緩めるとリューズは自動的に **B** 位置にセットされます。

時計が停止した場合は、リューズを (**B** 位置で) 最低30回回転させることにより、巻き上げることができます。その後は手首の動きにより、自動巻機構が時計の正常な作動を持続させます。

注意: 時計を腕に着けていない時、自動巻きの巻き上げシステムは機能しません。最初の巻き上げの量によりパワーリザーブの残っている40時間以内に止まります。

日付の調整

誤作動を防ぐため、日付メカニズムが作動していない午前1時から午後6時までの間に操作を行うことをお勧めいたします。

ロイヤル オークはモデルによっては、リューズを緩めて所定の位置に引き出す必要があります。

時計の日付が合っていない場合は、リューズを **C** の位置にセットしてから、合わせたい日付が表示されるまで時計回り (キャリバー2225と2325) あるいは反時計回り (キャリバー2140) に回してください。

ロイヤル オークはモデルによっては、防水性を確保するため操作後にリューズを **A** の位置までよくねじ込む必要があります。

